

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

こだいじゅうきよあと(おおどまりいせき)

古代住居跡(王泊遺跡)

新高総早倉矢井浅里
見梁社島敷掛原口庄
市市市町市市町

笠岡市



場所

かさおかし たかしま
・笠岡市高島



時代

こふんじだい
・古墳時代



指定年月日

しょうわ
・昭和33(1958)年
4月25日



所有

たかしま じん じゃ
・高島神社



し せき

この史跡について

たかしま じん じゃ けい だい じょうもん じ だい こ ふん じ だい い せき おおどまり い せき ねむ しょうわ
高島神社の境内には、縄文時代から古墳時代にいたる遺跡(王泊遺跡)が眠っています。昭和
18(1943)年、たかしま たかしまのみや あと ち でんしょう たし じ もと ちゅうしん
高島が「高島宮」跡地であるという伝承を確かめるために、地元の人たちが中心
なつて はくつちよう さ おこな とくきようだい がく きよう と だい がく はくつちよう さ おこな しょう
なって発掘調査が行われました。その後、とうきようだい がく きよう と だい がく はくつちよう さ おこな しょう
東京大学や京都大学の人たちも発掘調査を行い、縄
もん ど き けんきゆう せい か
文土器の研究などで大きな成果をあげました。

ちよう さ とう しょ じゅうきよあと ほ しょ けんざい かいすい に つ しお
なお、調査当初に「住居跡」と考えられていた場所は、現在では海水を煮詰めて塩を作るため
る あと
の炉跡だったと考えられています。